



平成28年度 県立有馬高等学校
不祥事ゼロプログラム検証結果及び次年度課題

1 神奈川県立有馬高等学校は【神奈川県職員行動指針】に基づいて、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを実施した。

(1) 法令遵守の意識の向上

- ア 神奈川県職員行動指針をあらためて確認するとともに、その実施に向けて取り組んだ。
- イ 公務外非行の防止のため研修会を実施するとともに、お互いに声をかけあう職場環境づくりに努めた。

(2) わいせつ・セクハラ行為の防止

- ア 職員啓発資料等をもとに研修会を実施するとともに、良好な人間関係の構築に努めた。
- イ 教材準備室等を整理することにより不適切な行為が起こらない環境づくりを行った。

(3) 体罰、不適切な指導の防止

- ア 教職員が互いに注意しあえる職場環境づくりに努めるとともに、適切な生徒指導についての意識喚起を図った。
- イ 職員啓発資料等をもとに研修会を実施するとともに、教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーとも連携し、生徒個々へ適切に対応した。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

- ア マニュアルに即した研修会を実施し、適正な業務遂行を確認した。
- イ 各点検作業においては、複数の担当者にて実施する体制を徹底した。
- ウ 成績処理支援システムを正確に運用し、効果的な点検体制を構築した。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

- ア すべての個人情報は、漏洩、紛失、滅失等をさせないよう適切に管理するとともに、必要な保管期間が経過したものについては、すみやかに廃棄を行った。
- イ 私物USBメモリ等の記録媒体は使用禁止とし、やむを得ず個人情報を持ち出す際は学校の記録媒体を使用し、所定の手続きに従った。
- ウ 生徒の携帯電話番号や電子メールアドレス等の個人情報の収集・利用・廃棄は適切に取り扱い、特にメールは業務用メールを利用した。
- エ 個人情報を校外に持ち出す場合は必要最小限とし「個人情報持出し許可願い」による手続きを行った。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

- ア 職員啓発資料等を活用して研修会を実施するとともに、時宜に応じて注意を喚起した。
- イ 勤務時間内外ともに、時間と気持ちに余裕をもつ運転とした。

(7) 業務執行体制の確保等

- ア 教職員間における情報共有を図り、個人が業務・情報を抱え込むことによる事故等が発生しないようチームで案件に取り組む体制を構築した。
- イ 教職員間における相互チェック体制を推進し、誤りのない公務運営を行った。

(8) 会計事務等の適正執行

- ア 私費会計基準に係る研修会等を実施した。
- イ 複数の担当者による点検を徹底し、厳正に執行した。

(9) 入学者選抜に係る事故防止

- ア マニュアルに即した研修会を実施し、適正な業務遂行のあり方を全教職員間で共有した。
- イ 各点検作業においては、複数の担当者にて実施する体制を徹底した。
- ウ 業務について改善点を検証し、常に見直しを行った。

(10) 校長による教職員への面接

校長は各教職員に面接を実施したうえ、一人ひとりにおける事故・不祥事防止の取組状況を確認するとと

もに、不十分な状況が確認された場合は、必要な指導を行った。

2 不祥事ゼロプログラムの効果

全職員が不祥事防止に取り組み、県民に信頼される学校づくりに向けて、職員のコンプライアンス（法令遵守）意識や不祥事防止に対する意識が向上した。

3 意見聴取等の状況

- (1) 不祥事ゼロプログラムの策定にあたり、学校評議員やPTA役員（保護者）等から聴取した。
- (2) ホームページで公表した際、県民の方からの意見はなかった。

4 不祥事防止会議・研修会の実施状況

- (1) 不祥事防止会議の主なテーマ（年間12回、のべ631人）
 - ・教育公務員の服務及び公務外非行について
 - ・体罰、不適切指導、スクールセクハラの防止
 - ・電子メールやSNSに関わる不適切な利用の防止
 - ・成績処理、調査書等の適正な作成
 - ・不適正経理処理の防止、私費会計の適正な処理
 - ・USBメモリ等に関わる個人情報等の管理、情報セキュリティ対策
 - ・適切な入学者選抜業務の遂行
- (2) 外部講師による研修会
 - ・総合教育センターや外部講師を招き、学校の事故防止の方策を考えや意識改革を行った。

5 平成29年度の課題

- 内部の教員を活用した研修会や不祥事防止会議のさらなる充実。
- 勤務中や勤務時間外においても緊張感を持ち、公務員としての自覚の維持。